

新事業年度になりました。昨年の桜の開花宣言は4月初めでしたが、今年は何事も早く、すでに桜が散り始めています。そして、3月末には25度を越す夏日があり、季節が1ヶ月ほど早く進んでいるのかと思われれます。今年の夏もこのままいくと暑くなりそうな予感です。

さて、今年度の予算が通過し、税制改正法案も通過いたしました。国会審議は財務省の森友学園の国有地の低額譲渡での公文書書き換えばかりで、他の内容は審議さえもできていません。政府与党と野党との話は我田引水ばかりで、明日の日本をどうするのかの視点がなくて、お互いが譲り合うこともしません。

政府は働き方の見直しをすべく力を入れてきています。働きたい人が就業調整を意識しなくて済む仕組みを構築する観点から、配偶者控除・配偶者特別控除の見直しが行われた。納税者本人の受ける控除額は、所得控除額38万円の対象となる配偶者の給与収入の上限は103万円でしたが、150万円に引き上げられました。配偶者控除等の適用される納税者本人に収入制限が設けられて、給与収入（合計所得金額）が1,120万円（900万円）を超える場合には控除額が通減・消失する仕組みとなります。社会保険の方が金額的には大きくなりますので、そちらの方の影響の関連は考慮されていません。

話変わって、北朝鮮の金正恩委員長が中国を電撃訪問した。北朝鮮と軍事衝突が起こるとすれば中国軍が北朝鮮に攻め入るとの観測が流れる程に中国との関係は悪化していた。そんな中での電撃訪中は衝撃的だ。この流れは平昌オリンピックでの韓国との合同チーム参加からの統一ムードに乗って進められたものであります。金正恩政権はしたたかですね。北朝鮮としては食糧、経済事情が苦しいこともあって、南北首脳会談で予想される韓国側の切り札の「経済カード」を弱めておかなければなりません。また、中国が求めていた核実験とミサイル発射の凍結に踏み切る用意があるとして、非核化についても言及した。

北朝鮮へのテコ入れは貿易戦争を仕掛けてきたトランプ政権への報復（対抗）措置も考えてのことか？南北・米朝首脳会談を前に中国の支持を取り付ける必要性があったのでは？この流れは朝鮮半島の東西冷戦の解消まで行くのか？トランプ大統領の胸三寸に委ねられている。朝鮮半島の統一が平和裏になされたら、米国は日本駐留軍を撤退し、安保条約を破棄するのでは？

日本を取り巻く環境は大きく変わっているのに、身内だけを大事にする安倍お友達内閣は退陣すべきだが、次の人がいない？

このところの事象を見ていると稲盛会長の言っている「動機善なりや 私心なかりしか」が浮かびます。肝に銘じて頑張りたいと思う。